

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名

やわらぎ

日付 平成 21年 3月 12日
特定非営利活動法人

評価機関名 ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験10年

評価調査員 介護支援専門員経験5年

[自主評価結果を見る](#)

[評価項目の内容を見る](#)

[事業者のコメントを見る\(改善状況のコメントがあります!\)](#)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

「人にやさしく、社会にあたたかく、快適で安全な暮らし」との願いを込めて数種の事業を立ち上げている中、介護福祉部門としてこのグループホームやわらぎがあるが、私が初めてこのホームに外部評価に入らせて貰った平成16年以降、この思いは変わる事なくずっと引き継がれ実現している事が、今日一日の訪問でもよく理解する事が出来た。中でも支配人の「利用して下さっている皆様には最大限の誠意を持って尽くして差し上げたい」「不況の今の世の中だからこそ、地域の皆様に一層のサービスを」という、熱い言葉に、私はこの事業所の「初心を貫く強い信念」のようなものを感じた。

管理者も「最近の利用者の重度化と職員不足・資質の変化」等、問題が山積みした課題に対して「認知症ケアの基本的姿勢」を失う事無く、しかし、だからこそ前に進めないもどかしさに苦しんだり、試行錯誤を繰り返しながらよく頑張っている。法人としてもホームの運営にはとても協力的で、職員の募集には力を入れているが、現段階ではなかなか難しいのが実情のようだ。

職員も一日一日を精一杯の感じで努力している。このホームも設立7年を過ぎ、利用者の身体的自立度も重度化し、職員の手が多く掛かるようになってきた。認知症の症状についても、グループホームでの集団生活に相当重要な影響を及ぼす様な状況が増加してきているが「何とかこのホームで暮らせる方策はないか?医療との連携を取りながら、今少し、今少し、様子を見てみよう」と健気な頑張りや痛み程よく伝わってきた。グループホーム設立時の想定以上の抱え込みをスタッフの奉仕的精神が支えていると私は感じている。この精神を褒め称えていて済むものだろうかと思ってしまう。

こういった状況下でありながらこのホームでの利用者スタッフのやり取りは底抜けに明るくて面白い。お互いに遠慮なく言い合える仲間同士のような雰囲気があちらこちらに渦巻いては、ゲラゲラという笑い声が聞こえる。「ここに居ると、私が楽しい」と職員の〇〇さんも言う。数年前に初めてここを訪問した時も笑いが絶えなかった事を覚えているが、このホームの伝統になっているのかも知らない。

特に改善の余地があると思われる点

グループホームという小規模多機能施設が誕生して早い施設では十年を越えている。当初考えられていたグループホームの意義や役割も、利用者と職員が一つ屋根の下で心を通じ合いながら暮らしていく内に、次々と変化してきている。ターミナルケアも増え、想定されていなかった程の重度の利用者も愛しさ故に看たいとスタッフが思うようになってきた。意義や役割が変化してきているのだから、グループホームの有り方についても、今ここで改めて問い直してみるのも良いのではないだろうか。

2. 評価結果 (詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…母体である会社の「常にお客様を第一に考え、お客様の視点から社会を見つめ、地域社会の人達の為に真心を込めてサービスする」という理念や姿勢は遵守され続けていて、これは素晴らしい事と思う。唯、ホームを取り巻く内外の情勢が徐々に変化してきているので「何を指すのが利用者の皆様にとって一番幸せか」色々な場面で話し合っ頂きたい。</p> <p>2、全体的に見て…このホームでは、食事・排泄・入浴・自分の足で歩く事・その他、人としての基本的な生活の自立を強く支援しようとしている。更に精神的にも穏やかに落ち着いた暮らし、常に笑顔が見られる毎日を願って、スタッフは本当によく頑張っている。今以上を考える時、スタッフだけが今以上に背伸びをしようとするよりも、利用者の家族や地域社会の人々により親密に手を組み、共に利用者を支える方策を考えたい方が、グループホームの目指すものに近づくのではないかと、私は思う。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…現在の所、車椅子の人の為にトイレに工夫を加えて使い易く改善しようかという話程度であったが、リビングルーム等の共用空間の使い方は常に、より良い配置や工夫を試み、落ち着いて生活出来る空間作りを心掛けている。</p> <p>2、全体的に見て…ホーム内での生活の場作りについて工夫したり試行錯誤を積み重ねているが、恵まれた環境の恩恵もしっかりと活用して利用者の暮らしの幅や楽しみを広げている。今日も近所に散歩を、アメを買いに等、寒い冬でも外気に触れ、気分転換が出来る。すぐ近くにお店やスーパー、病院や市役所があり、ホームから見える所に保育園・幼稚園・小学校があって子供達の姿がいつも目に入る。このように利用者が身近に触れられる場があり、自然な形で地域に繋がり、それをスタッフが上手く支援している。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のベースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…ケアプランは本人との関わりの中で、又、家族とは面会等の時に話し合うようにしているが、出来れば日程調整をして同時に相談出来る場を設定したいと言う。こういった場を作る事はとても有意義な事と思うので、そこでのリアルな発言のメモを残しスタッフが共有し、ケアプランに乗せて頂きたい。</p> <p>2、全体的に見て…昼食後お隣のユニットから遊びに来たO0さんの話題に私達も釣込まれて一時笑い合った。しばらくして私が隣を覗いてみると、彼女は「金もない、帳面もない」と引き出しを捜し回っていた。スタッフも一緒に捜し、財布も見付かり、家族から預かっているお金の説明で納得してから「アメを買いに行ってくるよ」となった。両ユニットのスタッフは、彼女の自由な行動・こうした意欲を最大限に尊重し、時に周囲に波紋が及ぶ事があってもその波を上手い対応で静めている。このように、スタッフは、周囲の思惑や影響も考慮しながら、その人のその時の気持ちを大切に「持てる力」を発揮して貰おうと、よく努力している。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
記述回答	<p>1、自主評価について…以前より計画したいと考えている家族同士の交流の場を定期的に持ちたいという事だが、運営推進会議やホームの新しい行事等と組み合わせ実施しても良いのではないかと、参加し易い方法を検討してみたい。</p> <p>2、全体的に見て…「お金を頂いて、うちがお預かりしている以上、すべてホーム側が責任を持って看させて頂きます」という方針でグループホームの運営を続けている所もあるが、年数を重ねるにつれて色々問題が生じていると聞く事が多い。原因は多岐にわたるが、その一つに「ホームに安心して任せると意識を家族が持ってしまうと、どうしても足が遠のき、関係性が薄れがちになる家族が増えている」事が挙げられる。「家族でない出来ない事」「ホームの職員が出来る事」「地域社会の人々に支えて貰う事」等の役割分担をしっかりと踏まえてホーム運営を再構築したい。</p>		